

第6学年 道徳科学習指導案

勝山市立村岡小学校

1 題材名 自律的で責任ある行動 A-1 善悪の判断、自律、自由と責任

2 資料名 君たちは最愛の人を奪った。でも憎まない
(福井新聞 2015年11月21日 発行)

3 主題について

本主題は「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」の内容項目 A-1 の「自由を大切に、自律的に判断し、責任のある行動をすること」をねらいとしている。高学年のこの段階においては、自主的に考え、行動しようとする傾向が強まる時期である。一方で、自由のとらえ違いをして相手や周りのことを考えず自分勝手なふるまいをしてしまうことも見られる。また、自律的で責任のある行動をすることの意味やよさが理解しにくい児童もいる。

人として行うべきこと、社会通念として行ってはならないことをしっかりと区別したり、判断したりする力は、児童が幼い時期から徹底して身に付けていくべきものである。それとともに、より積極的で健康的な自己像を描くことができるようにすることが大切であると考えられる。そのためには、何事にも積極的に取り組む姿勢が必要となるが、その原動力が自らを信じる姿勢であると考えられる。ただし、それは、過信や自分勝手ではなく、よいと思ったり正しいと判断したりすることができる力を伴った自信や自律的な態度でなくてはならない。よいこと、正しいことについて、人に左右されることなく、自ら正しいと信じるころに従って、誠実かつ謙虚に行動することは、人として重要なことである。

そのためには、自由と自分勝手との違いや、自由だからこそできることやその良さを考え、自由な考えや行動の持つ意味、その大切さを実感できるようにすることが大切である。また、正しいと判断したことは自信をもって行い、正しくないとは判断したことは行わないようにする態度を育てることも必要である。そして、判断した後の影響を考えることを通して、多面的・多角的に理解できるようにすることが重要である。

4 指導について

(1) 資料について

本資料は、2015年に起きた、パリの同時多発テロについての記事で、テロから1週間たった時のものである。授業で扱うのは、その中でも、ジャーナリストであるアントワヌ・レリスさんが SNS 上に「君たちは最愛の人を奪った。でも憎まない」と書いた文章を投稿したことについて扱ったものを使う。記事ではアントワヌさんの投稿した文章の全文と、アントワヌさんのことやこの文章についての紹介がなされている。

アントワヌさんはこのテロの被害者家族の一人である。この事件でアントワヌさんは妻を亡くし、1歳を過ぎたばかりの子どもと二人残されて、とてもつらく悲しい思いをしている。そんな中、事件から3日間考え悩み、未来に向き合うためと自己防衛のために、アントワヌさんは「テロには屈さない」、「憎しみに怒りで返しても何も解決しない」という、この文章を投稿した。アントワヌさんは妻の理不尽な死を心の底から悲しんでおり、まだその事実を受け止めきれず、これからの生活についても悩みがないわけではなかつたろう。しかし、自分がこれから過ごす幼い子どもとの未来に目を向けることで、明日に向かって歩みだそうとするアントワヌさんの心の強さを感じることができる。そこには、アントワヌさんが、自分の

心のままに行動しようとするのではなく、行動したことによる結果など、様々なことを考え、自ら信じることに従って自律的に判断し、実行するという自律性が伴っているだろう。

そこで、アントワヌさんの複雑な心の内や状況に迫ることで、アントワヌさんに共感し、自律的に判断することの意味や、その大切さについて、考えるきっかけをつかむことができるのではないかと考える。また、その際、判断したことによる影響についても考えることができ、そこから責任ある行動についても見つめるきっかけをつかめるのではないかと考える。

(2) ねらいとする価値にせまるために

本時では、資料として2015年に起きた、パリの同時多発テロについての記事を中心に扱う。このテロについて、先日イギリスでも同様の悲しい事件が発生した。そこで、まずこのことについて扱うことで、テロということや、フランスで起きたテロ事件について状況を理解させていく。その際、ICT機器を用い、視覚的に分かりやすく説明することで、理不尽に妻の命が奪われた、アントワヌさんのとてつらく、悲しい気持ちについて理解させたい。

次に、「君たちは最愛の人を奪った。でも憎まない」というアントワヌさんが発信した記事から、この記事の中の、「遺族の文章 共感広がる」「各国メディアが『心を動かされる』」「インターネット上ではシェアが22万件を超えた」という言葉をきっかけに、自分だったら共感できるか、納得できないかについて、理由も合わせて考えさせる。その中で、アントワヌさんの心の中の内について考えさせたい。

そして、アントワヌさんが「君たちは最愛の人を奪った。でも憎まない」と考えた理由について考えさせることで、アントワヌさんが自分の様々な感情や周りの状況など、多角的・多面的に考え、その中で一番の答えを出し、それがこれだったということに気付かせたい。この活動をする際、グループで話し合い、全体で考えを共有することで、自分で考え、的確に判断し、行動することが自律的に判断するということを理解させたい。

5 本時について

(1) 本時のねらい

自ら信じることに従って、自律的に判断しようとする態度を育てる。

(2) 準備物

新聞（資料） ワークシート パソコン ホワイトボード

6 本時の学習過程

学習活動 学習課題 主な発問 予想される児童の反応（・）	教師の支援(☆ICT支援) と評価
1 テロについて知り、テロに対して思うことを共有する。 ・テロは許せない。 ・亡くなった人がかわいそう。 ・ひどい。 ・許せない。	☆記事を提示しイギリスで起きた事件について伝える。 ・テロの意味をおさえる。
2 フランスで起きた同時多発テロについて知り、自分の場合に置き換えて考える。 もし、みんなの大切な人がこの事件に巻き込まれて、亡くなっていたら、どんな気持ちですか。 ・悲しい。 ・許せない。 ・ひどい。	☆フランスの同時多発テロの記事を提示し、被害にあった人たちの気持ちについて考えさせる。 ☆福井県の人が当時フランスにいて、みんな無事だった記事を提示し、記事の内容を確認する。
アントワヌさんの行動について考えよう	・記事からアントワヌさんの行動について考えることを伝える。
3 同時多発テロから1週間たった時の記事を読み、アントワヌさんのことについて確認する。 ・アントワヌさんの最愛の人は、奥さん。 ・奥さんはたまたま巻き込まれた。 ・福井の人は誰も被害にあわなかったが、アントワヌさんは、奥さんを亡くした。 ・アントワヌさんは1歳5か月の子どもがいる。	・同時多発テロから1週間たった時の記事を提示し、見出しを中心に読ませる。 ・心に留まる言葉を尋ね、アントワヌさんの「君たちは最愛の人を奪った。でも憎まない」という記事に注目させ、見出しを板書する。 ・記事を音読する。 ・奥さんが亡くなったことや家族のことなどを確認する。 ・アントワヌさんが、悲しみや怒りなど、様々な感情を持っていることを確認する。

4 アントワヌさんが「憎まない」と発信したことについて、共感できるか、納得できないか考える。

あなたはアントワヌさんが「憎まない」と発信したことについて、共感できますか、納得できませんか。理由も書きましょう。

- ・相手のことが許せないから、多分同じようにはできない。
- ・とても悲しいけれど、いつまでもそのままでは自分も辛くて、誰も幸せになれない。
- ・いつまでも悲しんでいたら、先に進めない。

5 アントワヌさんが「憎まない」と発信したことについてグループで考え、発表する。

どうして、アントワヌさんは「憎まない」と発信したのだろうか。

- ・憎しみに怒りで答えたら、犯人と同じだから。
- ・子どもがずっと幸せで自由に生きてほしかったから。
- ・テロを起こした人と同じ人になりたくなかったから。

6 学習を振り返り、発表する。

今日の授業を通して、自分が学んだことを中心に、授業を振り返りましょう。

・ワークシートを配る。

・自分の意見を書けない児童には、大切な人や理不尽な出来事を具体的に想起させることで、アントワヌさんの心情に迫らせる。

・納得できない人、共感できる人の順に発表させる。

・アントワヌさんは3日たって、やっとこの文章を発信したことを伝える。

・アントワヌさんが、悲しみや怒りなどその場の感情（納得できない人の意見）ではなく、その先や周りのことまで考え（共感できる人の意見）、自分の中で一番正しいと思う判断をしたことを押さえる。また、これが「自分を律する」ということであることを押さえる。

アントワヌさんが自分の様々な感情や周りの状況などを考えて、前向きな理由を選んだことについて、話し合っている。

（観察、ホワイトボード）

・書けない児童には、もう一度一緒に授業で扱った内容を確認する。

自律的に判断し、活動しようとしたり、「自律」の考えをもったりしようとしている。

（ワークシート）

7 授業の観点

- ・ 新聞記事を資料として使い、多角的・多面的に考え、主体的な対話を通して、深い学びにつながったか。

8 ご高評

イントロースタッフの行動について考えよう

名前

あなたはイントロースタッフが「權まなひ」を発信した事について、共感できますか、納得できませんか。理由も書きましょう。

共感できる ・ 納得できない

(理由)

振り返り(今日の授業を通して、自分が学んだことを中心に)
